

## 一般社団法人日本官能評価学会 2020 年度総会

日 時：2020 年 11 月 15 日（日） 13 時 00 分より

場 所：web 開催（zoom）

1. 開会の辞

2. 会長挨拶

3. 議 題

1) 2019 年度（2019 年 9 月 1 日～2020 年 8 月 31 日）事業報告（案）に関する件・・・資料 1

2) 2019 年度（2019 年 9 月 1 日～2020 年 8 月 31 日）決算（案）に関する件・・・・・・資料 2

3) 2020 年度（2020 年 9 月 1 日～2021 年 8 月 31 日）事業計画（案）に関する件・・・資料 3

4) 2020 年度（2020 年 9 月 1 日～2021 年 8 月 31 日）予算（案）に関する件・・・・・・資料 4

5) 官能評価士資格認定に関する件（案）・・・・・・・・・資料 5－1・2

6) その他

4. 閉会の辞

事業報告（案）

1. 研究発表会・ワークショップの開催

1) 一般社団法人日本官能評価学会 2019年大会の開催

2019年11月17日（日）東京家政大学 板橋キャンパス

メインテーマ：「言葉によらない官能評価」

ポスター発表：30題

基調講演「言葉によらない官能評価」

山下利之（首都大学東京）

評議委員会

総会・表彰式

招待講演1「看護のための感性評価ツールデザイン」

岡崎 章（拓殖大学）

招待講演2「自律神経応答のみを用いたうつ病スクリーニング」

松井 岳巳（首都大学東京）

研究交流会

2) 官能評価ワークショップの中止

以下の予定で開催予定でしたワークショップは新型コロナウイルスの影響を考慮し、中止した。

①2020年3月6・7日 2020年 官能評価ワークショップ（中級ワークショップ）

②2020年6月20日 2020年 官能評価ワークショップ（初級ワークショップ）

③2020年9月26日 2020年 基礎統計講習会

2. 学会誌・その他の図書の刊行

1) 学会誌の刊行

①日本官能評価学会誌第23巻2号（2019年10月15日発行）

②日本官能評価学会誌第24巻1号（2020年4月15日発行）

3. 研究・調査・表彰及び人材育成の実施

1) 資格認定制度

2020年官能評価士認定試験の専門・初級・中級は新型コロナウイルスの影響を考慮し、中止した。

2) 部会の開催

企業部会を5回開催

①第88回定例会 2019年 9月26日（木）麒麟ビール横浜工場（神奈川県横浜市）

②第89回定例会 2019年 11月22日（金）明治イノベーションセンター（東京都八王子市）

③第90回定例会 2020年 1月24日（金）東北大学文学部（宮城県仙台市）

④第91回定例会 2020年 5月29日（金）WEB会議

⑤第92回定例会 2020年 7月17日（金）WEB会議

3) 表彰

日本官能評価学会 2018年大会の優秀発表賞の表彰

4. 総会・理事会等の開催

1) 総会

2019年11月17日（日）13：40～14：30 東京家政大学にて一般社団法人日本官能評価学会 2019年大会に合わせて開催。

2) 理事会

理事会を3回開催

①2019年10月14日（月）12時30分から10月理事会（於日本女子大学）

②2020年2月8日（土）13時30分から2月理事会（於日本女子大学）

③2020年6月13日（土）11時00分から6月理事会（リモート会議）

5. 会員数の変化

会員の現状 (2020年8月31日現在)

会員種別	人数(人)	前年度との増減
正会員	411	6
学生会員	13	0
賛助会員	25	0
名誉会員	3	0
購読会員	8	0
合計	460	
前年度との増減	6	

6. 附属明細書に関する事項

2019年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。

## 資料2：2019年度（2019年9月1日～2020年8月31日）決算（案）

<b>貸借対照表</b>			
令和 2年 8月31日現在			
一般社団法人日本官能評価学会		（単位：円）	
科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	14,597,852	16,334,441	△ 1,736,589
未収金	10,433	0	10,433
流動資産合計	14,608,285	16,334,441	△ 1,726,156
資産合計	14,608,285	16,334,441	△ 1,726,156
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	210,191	1,344,921	△ 1,134,730
前受会費	25,000	62,500	△ 37,500
流動負債合計	235,191	1,407,421	△ 1,172,230
負債合計	235,191	1,407,421	△ 1,172,230
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	14,373,094	14,927,020	△ 553,926
正味財産合計	14,373,094	14,927,020	△ 553,926
負債及び正味財産合計	14,608,285	16,334,441	△ 1,726,156

# 正味財産増減計算書

令和 1年 9月 1日から令和 2年 8月31日まで

一般社団法人日本官能評価学会

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
受取会費	3,302,500	3,202,500	100,000
正会員費	2,020,000	1,920,000	100,000
学生会員費	32,500	32,500	0
賛助会員費	1,250,000	1,250,000	0
事業収益	1,708,102	3,719,500	△ 2,011,398
学会誌刊行費	455,000	362,500	92,500
掲載料	200,000	140,000	60,000
広告料	215,000	182,500	32,500
会誌購読料	40,000	40,000	0
大会	1,244,102	1,900,000	△ 655,898
大会参加費	1,060,000	1,491,000	△ 431,000
大会ブース出展料	70,000	90,000	△ 20,000
会員交流費(懇親会費)	113,000	217,000	△ 104,000
要旨集	1,102	2,000	△ 898
その他	0	100,000	△ 100,000
ワークショップ	9,000	1,457,000	△ 1,448,000
雑収益	52,365	247,546	△ 195,181
その他	52,365	247,546	△ 195,181
資格認定に関する収入	51,259	2,829,853	△ 2,778,594
講習会費	0	210,000	△ 210,000
受験料	0	1,170,000	△ 1,170,000
認定料	20,000	1,400,000	△ 1,380,000
その他	31,259	49,853	△ 18,594
企業部会	470,510	1,534,761	△ 1,064,251
拡大講演会収入	0	702,750	△ 702,750
懇親会収入	470,500	832,000	△ 361,500
雑費	10	11	△ 1
経常収益計	5,584,736	11,534,160	△ 5,949,424
(2) 経常費用			
学会管理費	2,136,450	2,155,203	△ 18,753
外部委託費	1,654,502	1,561,118	93,384
会議費・理事会交通費	75,766	190,758	△ 114,992
通信・運搬費	56,572	30,843	25,729
諸印刷費	1,778	1,263	515
ホームページ管理費	245,110	277,560	△ 32,450
J-STAGE関連費	77,000	75,600	1,400
事務用品他	1,104	0	1,104
雑費(振込手数料等)	11,518	18,061	△ 6,543
租税公課	13,100	0	13,100
事業費	3,385,145	4,204,533	△ 819,388
学会誌刊行費	1,961,643	1,798,795	162,848
編集費	439,039	392,830	46,209
印刷製本費	1,381,215	1,266,300	114,915
会誌送付用封筒など	43,460	36,450	7,010
通信運搬費	97,929	103,215	△ 5,286
大会	1,282,905	1,528,957	△ 246,052
開催経費	75,094	74,575	519
外部委託費	706,898	705,638	1,260
会場設営費	60,000	126,900	△ 66,900
講師謝金・交通費	107,743	207,712	△ 99,969
学会賞費	20,000	20,000	0
印刷製本(発表要旨集)	53,295	53,892	△ 597
会員交流費(懇親会費)	96,000	192,240	△ 96,240
学生アルバイト代	163,875	148,000	15,875
ワークショップ	140,597	876,781	△ 736,184
開催経費	0	101,057	△ 101,057
外部委託費	140,597	354,027	△ 213,430
講師謝金	0	275,937	△ 275,937
会議費	0	23,860	△ 23,860
学生アルバイト代	0	121,900	△ 121,900
資格認定予算	16,527	1,766,366	△ 1,749,839
会場費	0	230,000	△ 230,000
印刷・通信運搬費	8,653	473,167	△ 464,514
試験関連運営費	420	399,192	△ 398,772
外部委託費	7,454	610,007	△ 602,553
マーケット読み取り装置レンタル料金	0	54,000	△ 54,000
企業部会	530,540	1,585,214	△ 1,054,674
拡大講習会関連費	0	734,889	△ 734,889
部会運営費	530,540	850,325	△ 319,785
経常費用計	6,068,662	9,711,316	△ 3,642,654
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 483,926	1,822,844	△ 2,306,770
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 483,926	1,822,844	△ 2,306,770
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 483,926	1,822,844	△ 2,306,770
法人住民事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 553,926	1,752,844	△ 2,306,770
一般正味財産期首残高	14,927,020	13,174,176	1,752,844
一般正味財産期末残高	14,373,094	14,927,020	△ 553,926
<b>II 正味財産期末残高</b>	14,373,094	14,927,020	△ 553,926

# 予算対比正味財産増減計算書

令和 1年 9月 1日から令和 2年 8月31日まで

一般社団法人日本官能評価学会

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
受取会費	3,017,500	3,302,500	△ 285,000
正会員費	1,745,000	2,020,000	△ 275,000
学生会員費	22,500	32,500	△ 10,000
賛助会員費	1,250,000	1,250,000	0
事業収益	3,245,000	1,708,102	1,536,898
学会誌刊行費	390,000	455,000	△ 65,000
掲載料	150,000	200,000	△ 50,000
広告料	200,000	215,000	△ 15,000
会誌購読料	40,000	40,000	0
大会	1,455,000	1,244,102	210,898
大会参加費	1,160,000	1,060,000	100,000
大会ブース出展料	80,000	70,000	10,000
会員交流費(懇親会費)	210,000	113,000	97,000
要旨集	5,000	1,102	3,898
ワークショップ	1,400,000	9,000	1,391,000
雑収益	200,000	52,365	147,635
その他	200,000	52,365	147,635
資格認定に関する収入	2,760,000	51,259	2,708,741
講習会費	220,000	0	220,000
受験料	1,180,000	0	1,180,000
認定料	1,300,000	20,000	1,280,000
その他	60,000	31,259	28,741
企業部会	900,100	470,510	429,590
懇親会収入	900,000	470,500	429,500
雑費	100	10	90
経常収益計	10,122,600	5,584,736	4,537,864
(2) 経常費用			
学会管理費	2,406,000	2,136,450	269,550
外部委託費	1,718,000	1,654,502	63,498
会議費・理事会交通費	280,000	75,766	204,234
通信・運搬費	40,000	56,572	△ 16,572
諸印刷費	30,000	1,778	28,222
ホームページ管理費	206,000	245,110	△ 39,110
J-STAGE関連費	77,000	77,000	0
事務用品他	25,000	1,104	23,896
雑費(振込手数料等)	30,000	11,518	18,482
租税公課	0	13,100	△ 13,100
事業費	4,270,000	3,385,145	884,855
学会誌刊行費	1,850,000	1,961,643	△ 111,643
編集費	400,000	439,039	△ 39,039
印刷製本費	1,300,000	1,381,215	△ 81,215
会誌送付用封筒など	40,000	43,460	△ 3,460
通信運搬費	110,000	97,929	12,071
大会	1,500,000	1,282,905	217,095
開催経費	110,000	75,094	34,906
外部委託費	710,000	706,898	3,102
会場設営費	130,000	60,000	70,000
講師謝金・交通費	160,000	107,743	52,257
学会賞費	20,000	20,000	0
印刷製本(発表要旨集)	60,000	53,295	6,705
会員交流費(懇親会費)	200,000	96,000	104,000
学生アルバイト代	110,000	163,875	△ 53,875
ワークショップ	920,000	140,597	779,403
開催経費	130,000	0	130,000
外部委託費	360,000	140,597	219,403
講師謝金	290,000	0	290,000
会議費	20,000	0	20,000
学生アルバイト代	120,000	0	120,000
資格認定予算	1,790,000	16,527	1,773,473
会場費	300,000	0	300,000
印刷・通信運搬費	460,000	8,653	451,347
試験関連運営費	365,000	420	364,580
外部委託費	610,000	7,454	602,546
マーケット読み取り装置レンタル料金	55,000	0	55,000
企業部会	1,146,733	530,540	616,193
部会運営費	1,146,733	530,540	616,193
経常費用計	9,612,733	6,068,662	3,544,071
評価損益等調整前当期経常増減額	509,867	△ 483,926	993,793
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	509,867	△ 483,926	993,793
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	509,867	△ 483,926	993,793
法人住民事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	439,867	△ 553,926	993,793
一般正味財産期首残高	14,927,020	14,927,020	0
一般正味財産期末残高	15,366,887	14,373,094	993,793
<b>II 正味財産期末残高</b>	15,366,887	14,373,094	993,793

# 財産目録

令和 2年 8月31日現在

一般社団法人日本官能評価学会				(単位:円)
貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	101,663
	預金	普通預金		13,562,762
		みずほ銀行/口座番号1224419	本部会計口座	891,431
		みずほ銀行/口座番号1224435	資格認定委員会口座	7,026,556
		みずほ銀行/口座番号1247559	企業部会口座	1,084,904
		ゆうちょ銀行/口座番号8935784	小泉基金口座	606,097
		みずほ銀行/口座番号1224427	学会活動準備金口座	3,953,774
		郵便振替口座		933,427
		ゆうちょ銀行/019店当座0673332		933,427
	未収金		編集委員会	10,433
流動資産合計				14,608,285
資産合計				14,608,285
(流動負債)				
	未払金			210,191
		(株)国際文献社	委託費等	210,191
	前受会費			25,000
	正会員			25,000
流動負債合計				235,191
負債合計				235,191
正味財産				14,373,094

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

## 附属明細書

### 1. 該当事項なし

# 監査報告

令和2年9月25日

一般社団法人日本官能評価学会  
会長 飯田 文子 殿

一般社団法人日本官能評価学会

監事 市原 茂 印

監事 小塚 彦明 印

監事は、令和元年9月1日から令和2年8月31日までの第3期事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

## 資料3：一般社団法人日本官能評価学会 2020年度（2020年9月1日～2021年8月31日）事業計画（案）

### 1. 研究発表会・ワークショップの開催

#### 1) 一般社団法人日本官能評価学会 2020年大会の開催

2020年11月29日（日）zoomによるリモート開催

メインテーマ：「消費者を知る・測る」

口頭発表：17題

基調講演 「ヒット商品を生み出す官能評価とは」

小塚彦明（食品評価技術研究所）

シンポジウム「消費者を知る・測る」

講演 1 「食事記録・調査のためのマルチメディアツール：FoodLogAthl」

相澤清晴（東京大学）

講演 2 「消費者行動におけるリテラシーの問題」

小山慎一（筑波大学）

講演 3 「消費者心理の実験的測定」

鎌田晶子（文教大学）

#### 2) 官能評価ワークショップの開催

①2021年 官能評価ワークショップ（中級ワークショップ） は中止

②2021年 官能評価ワークショップ（初級ワークショップ） は感染状況を踏まえて検討

③2021年 基礎統計講習会 6～7月にWebにて開催予定

### 2. 学会誌・その他の図書の刊行

#### 1) 学会誌の刊行

①日本官能評価学会誌第24巻2号（2020年10月15日発行）

②日本官能評価学会誌第25巻1号（2021年4月15日発行）

### 3. 研究・調査・表彰及び人材育成の実施

#### 1) 資格認定制度

2020年官能評価士試験認定試験は2021年9月実施予定

#### 2) 部会の開催

①第93回定例会 2020年9月18日（金）WEB会議

②第94回定例会 2020年11月（予定）

③第95回定例会 2021年1月（予定）

④第96回定例会 2021年3月（予定）

⑤第4回拡大講演会 2021年5月（予定）

#### 3) 表彰

日本官能評価学会2019年大会の優秀発表賞の表彰

### 4. 総会・理事会等の開催

#### 1) 総会

一般社団法人日本官能評価学会2020年度総会はWEB開催で行う。

#### 2) 理事会

理事会を4回開催

資料4：一般社団法人2020年度（2020年9月1日～2021年8月31日）予算（案）

収支予算書				
2020年9月1日から2021年8月31日まで				
一般社団法人日本官能評価学会	(単位:円)			
科目	2020年度予算額	2019年度予算額	差異	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	3,022,500	3,017,500	5,000	2020/9/1時点会員数(年度末退会・自動退会予定を除く)
正会員費	1,755,000	1,745,000	10,000	正会員数390名×納入率90%≒351名の入金として計算(会費5,000円)
学生会員費	17,500	22,500	△ 5,000	学生会員数11名×納入率70%≒7名の入金として計算(会費2,500円)
賛助会員費	1,250,000	1,250,000	0	賛助会員数25団体×納入率100%の入金として計算(会費50,000円)
事業収益	2,270,000	3,245,000	△ 975,000	
学会誌刊行費	390,000	390,000	0	
掲載料	150,000	150,000	0	
広告料	200,000	200,000	0	
会誌購読料	40,000	40,000	0	購読会員数8団体×納入率100%の入金として計算(一口5,000円)
大会	480,000	1,455,000	△ 975,000	オンライン開催
大会参加費	400,000	1,160,000	△ 760,000	19年度実績より概算で予算計上 正会員@2,000×80名(前年度実績:事前37名・当日41名) 非会員@3,000×60名(前年度実績:事前19名・当日39名) 学生会員@1,000×10名(前年度実績:事前5名・当日6名) 非会員学生@1,000×35名(前年度実績:学生事前13名・当日24名)
大会ブース出展料	80,000	80,000	0	
会員交流費(懇親会費)	0	210,000	△ 210,000	懇親会の開催なし
要旨集	0	5,000	△ 5,000	要旨集印刷なし
ワークショップ	1,400,000	1,400,000	0	前年度同額 初級WS、中級WS、基礎統計講習会
雑収益	200,000	200,000	0	
その他	200,000	200,000	0	
資格認定に関する収入	2,760,000	2,760,000	0	前年度同額
講習会費	220,000	220,000	0	
受験料	1,180,000	1,180,000	0	
認定料	1,300,000	1,300,000	0	
その他	60,000	60,000	0	
企業部会	1,145,100	900,100	245,000	企業部会予算案より計上
拡大講演会収入	845,000	0	845,000	参加費:会員(4,000円×110名)、非会員(6,000円×30名)、懇親会費:5,000円×45名
懇親会収入	300,000	900,000	△ 600,000	2回分(3月・7月分)@5000円×30名/回
雑収益	100	100	0	実績に基づき計上
経常収益計	9,397,600	10,122,600	△ 725,000	
(2) 経常費用				
学会管理費	2,210,000	2,406,000	△ 196,000	
外部委託費	1,603,000	1,718,000	△ 115,000	国際文献社委託費9-8月分(1,500,000円)、総会業務委託費(70,000円)、企業部会業務委託費(33,000円)
会議費・理事交通費	125,000	280,000	△ 155,000	zoom契約料22,880円×?月分、交通費約100,000円(前年度実績より)
通信・運搬費	70,000	40,000	30,000	前年度予算40,000円+総会関連送料30,000円
諸印刷費	30,000	30,000	0	
ホームページ管理費	250,000	206,000	44,000	株式会社サーバー・ドメイン年間費用(27,500円)、国際文献社更新料19年度実績(173,060円)+(6-8月分実績)より
J-STAGE関連費	77,000	77,000	0	24巻2号、25巻1号国際文献社(@38,500×2号)
事務用品他	25,000	25,000	0	
雑費(振込手数料等)	30,000	30,000	0	
事業費	3,690,000	4,270,000	△ 580,000	
学会誌刊行費	1,850,000	1,850,000	0	24巻2号、25巻1号分
編集費	400,000	400,000	0	
印刷製本費	1,300,000	1,300,000	0	
会誌送付用封筒など	40,000	40,000	0	
通信運搬費	110,000	110,000	0	
大会	920,000	1,500,000	△ 580,000	オンライン開催
開催経費	88,000	110,000	△ 22,000	過去3年分の平均値を計上
外部委託費	517,000	710,000	△ 193,000	20年度見積額516,908円より
会場設営費	0	130,000	△ 130,000	
講師謝金・交通費	150,000	160,000	△ 10,000	過去3年分の平均値を計上
学会賞費	15,000	20,000	△ 5,000	20年度受賞者3名×5,000円
印刷製本(発表要旨集)	0	60,000	△ 60,000	要旨集印刷なし
会員交流費(懇親会費)	0	200,000	△ 200,000	懇親会の開催なし
学生アルバイト代	150,000	110,000	40,000	過去3年分の平均値を計上
ワークショップ	920,000	920,000	0	前年度同額 初級WS、中級WS、基礎統計講習会
開催経費	130,000	130,000	0	
外部委託費	360,000	360,000	0	
講師謝金	290,000	290,000	0	
会議費	20,000	20,000	0	
学生アルバイト代	120,000	120,000	0	
資格認定予算	1,790,000	1,790,000	0	前年度同額
会場費	300,000	300,000	0	
印刷・通信運搬費	460,000	460,000	0	
試験関連運営費	365,000	365,000	0	
外部委託費	610,000	610,000	0	
マーケット読み取り装置レンタル料金	55,000	55,000	0	
企業部会	1,309,619	1,146,733	162,886	企業部会予算案より計上
拡大講演会関連費	833,386	0	833,386	
部会運営費	476,233	1,146,733	△ 670,500	
経常費用計	8,999,619	9,612,733	△ 613,114	
評価損益等調整前当期経常増減額	397,981	509,867	△ 111,886	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	397,981	509,867	△ 111,886	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	397,981	509,867	△ 111,886	
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0	都民税
当期一般正味財産増減額	327,981	439,867	△ 111,886	
一般正味財産期首残高	14,701,552	14,927,020	△ 225,468	*暫定
一般正味財産期末残高	15,029,533	15,366,887	△ 337,354	
II 正味財産期末残高	15,029,533	15,366,887	△ 337,354	

## 資料5：官能評価士認定試験に関する件（案）

### <報告>

- 1 資格名称の変更と中級ワークショップ参加を学会発表に置き換えることが可能になったこと  
(資料5-1、5-2)
- 2 認定試験の中止  
2020年9月26日・27日
- 3 来年度の試験実施  
2021年8月をオリンピックの関係で9月実施を予定

以上

# 一般社団法人日本官能評価学会 資格認定委員会規程

(2020年2月8日改訂)

## 第1条 (名称)

本委員会は、一般社団法人日本官能評価学会資格認定委員会と称する。

## 第2条 (目的)

本委員会は、JSSE 官能評価士 (旧初級官能評価士)、JSSE 上級官能評価士 (旧中級官能評価士)、及び JSSE 専門官能評価士 (旧専門官能評価士) の資格を認定するために一般社団法人日本官能評価学会 (Japanese Society for Sensory Evaluation: JSSE と略す) に附置する機関である。

## 第3条 (業務)

本委員会は下記の業務を行う。その審査結果に基づき、一般社団法人日本官能評価学会が、JSSE 官能評価士、JSSE 上級官能評価士及び JSSE 専門官能評価士の資格を発行する。なお、資格の発行に際しては、一般社団法人日本官能評価学会の理事会の議を経るものとする。

1. JSSE 官能評価士、JSSE 上級官能評価士及び JSSE 専門官能評価士の認定試験を実施し、合否の判定を行う。  
認定試験の実施方法、合否の判定方法については、別に定める。
2. 官能評価士認定試験受験希望者のための中級ワークショップ (中級講座) を主催し、単位の認定を行う。  
単位の認定方法については別に定める。

## 第4条 (役員)

本委員会には、次の役員を置く。

- 委員長 1名。
- 副委員長 2名。
- 委員 20名以内。
- 幹事 若干名。

なお、委員長及び委員は、専門官能評価士の資格を有するものでなくてはならない。

## 第5条 (役員を選任)

委員長及び副委員長は、会長が会員の中から推薦し、総会で選任する。

委員は、委員長が会員の中から推薦し、理事会で選任する。

また、幹事は、委員長が任命する。

## 第6条 (役員任期)

役員任期は2年とし、再任を妨げない。

## 第7条 (事務局)

本委員会の事務局は、当分の間、東京都新宿区に置く。

## 附 則

1. 本規程は、2011年4月1日から実施される。
2. この規程の変更は理事会の議決による。

## 官能評価士認定制度規程

(2020年2月8日改定)

### 第1条 当認定制度の趣旨

一般社団法人日本官能評価学会（Japanese Society for Sensory Evaluation: JSSE と略す）では、官能評価の専門家の育成と適正な官能評価の普及を目的として、正しい知識に基づく官能評価の実施、及び、官能データの適切な解析・管理のできる専門家を認定する制度を導入することにする。

### 第2条 資格認定委員会

本学会に「官能評価士」の資格認定のための資格認定委員会を設置する。資格認定委員会については、別に定める。

### 第3条 「官能評価士」の種別

「官能評価士」は、JSSE 官能評価士、JSSE 上級官能評価士及び JSSE 専門官能評価士の三段階からなる。いずれも学歴は問わない。JSSE 官能評価士は、官能評価全般にわたる基礎的な知識を修得していなくてはならない。JSSE 上級官能評価士は、基礎的な知識に加えて、官能評価の実際における応用力も必要である。JSSE 上級官能評価士は、職場等で官能評価の指導的役割を担うことができる。JSSE 専門官能評価士は、官能評価に関する高度な専門的能力を有し、企業にあっては、官能評価の業務に一定年数以上従事し、官能評価に精通していることが前提となる。研究あるいは教育に従事する場合は、官能評価に関する論文等を基準以上報告していることが前提となる。JSSE 専門官能評価士は、職場等で JSSE 上級官能評価士を指導することができる。

### 第4条 資格の取得要件

〈JSSE 官能評価士〉

JSSE 官能評価士の場合は、資格認定委員会による「JSSE 官能評価士」認定試験に合格しなくてはならない。一般社団法人日本官能評価学会の会員である必要はない。

〈JSSE 上級官能評価士〉

JSSE 上級官能評価士の場合は、一般社団法人日本官能評価学会の正会員、または学生会員であり、JSSE 官能評価士の資格を保有し、資格認定委員会が行う中級ワークショップ（中級講座）で必要な単位を取得しているか、もしくは、日本官能評価学会での大会発表を第一著者として1回以上行っていること、かつ、「JSSE 上級官能評価士」認定試験に合格しなくてはならない。

〈JSSE 専門官能評価士〉

JSSE 専門官能評価士の場合は、一般社団法人日本官能評価学会の正会員、または学生会員であり、JSSE 上級官能評価士の資格保有者で、5年以上の官能評価の実務経験を有し、かつ、資格認定委員会が行う「JSSE 専門官能評価士」認定試験に合格しなくてはならない。認定試験は、下記のいずれかの方法により受験できる。

①官能評価の業務経験による審査

②官能評価の研究業績による審査

②に関しては、他の研究業績に加えて、日本官能評価学会誌の査読論文（筆頭筆者になっているもの）が1論文以上含まれていることが必要である。

なお、①、②いずれの場合も筆記試験、および面接試験を行う。

### 第5条 資格の停止と再認定

「JSSE 上級官能評価士」と「JSSE 専門官能評価士」の資格を持つ者が、一般社団法人日本官能評価学会を退会した場合は、資格を停止する。また、停止されている資格を復活させるためには、資格認定委員会に申請し、所定の再認定手続きを取らなくてはならない。

### 第6条 資格認定に関する費用

資格認定に関する費用については、別に定める。

### 附則

1. 本規程は、2013年4月1日から実施される。
2. この規程の変更は理事会の議決による。